

## 令和5年度第二回当別町新庁舎建設検討委員会報告書

- 1 日 時 令和5年9月26日（火） 10:00～11:05
- 2 場 所 役場第二庁舎
- 3 出席者  
(出席委員) 高橋委員長、和田副委員長、川村委員、石田委員、松岡委員、袴田委員、小貫委員、今堀委員  
(町及び事務局)  
【事務局】 乗木企画部参与、高田事業推進課長  
事業推進課 米内主幹、中鉢主任、有澤主事
- 4 傍聴者 9名
- 5 会議概要  
開会后、次第により、次のとおり委員会を取り進めた。
  - ・委員長挨拶
  - ・議 事  
事務局より「①既存施設の現状分析について」を資料に基づき説明した。
  - ・質 疑  
委 員 長：今回初めて減築という方法もあると提案いただいた。参考事例も参考にしながら、みなさん質問していただければ。  
事 務 局：参考事例やプランニングを提出させていただきましたが、現庁舎のゾーニングもあくまで一つの案で、この方法しかないのかということそうではないです。ここで何が言いたかったかということ、耐震の補強は1階に多くの耐震ブレースを設置してきっちり補強しなければならず、1階の使い勝手があまりよろしくないということが発生します。これを解消する一つの方法として、参考事例の最後に提示した減築の事例があります。実は3階建ての施設だったので2階建てに減築しており、当然上に支えるものが少なくなるので、1階の補強が少なく済み、少なくなれば改修費用も削減することができるという事例です。  
委 員 長：何か質問ありますか。  
委 員 員：前回の委員会で、新庁舎を当別の中でどういう位置づけや方向性にするかを示していかないと、委員もどの基準で選定していくか、ぶれてしまうのではないかと意見を出したが、優先順位もしくは目的が何なのかを再度共有していただきたい。例えば、賑わいを作っていくため、町民との交流機会の部分の優先順位を高めていくとか、町の戦略にあるデジタル田園都市構想を推進していくため、ITを活用して庁舎分散化の事例として全国的に先駆けていくとかか。

今回は減築の例があったが、そういう方向性でいくのであれば全国的に分散化の事例がないのかという話にもなる。なので、その優先順位という判断軸をどこに持っていくのかが、検討していく上ではかなり重要だと思う。逆にもし決まっていなければ、それを委員会の中で検討する必要がある。今のままだと、町民に説明するときには、優先順位がお金としか聞かえない。建物の耐震が厳しくて、いつ地震が来ても危ない状況。ただし、お金ないから、とりあえず新しく建てなきゃいけないという状況です、という説明しかできない。納得感を得るために、その部分があるとより説明もしやすいし、委員も責任を果たせるのでは、と考える。

事務局：基本構想のなかで基本方針として、まちづくりの拠点としての役割、これがいわゆるまちの賑わいづくりですとか複合化といったような話。それと、災害に強い防災拠点となる庁舎、人に優しい庁舎、長く有効的に活用できる庁舎、まちの魅力を発信する庁舎を掲げています。1項目のまちづくりの拠点としての役割で、当初は施設の複合化でにぎわいを作ることも考えていましたが、この検討委員会の議論の中で、複合化という部分をまずは外して進めていくという形になっております。ただ、まちのにぎわいは全く関係なしに、事業費とかお金の部分だけで検討を進めようとは考えていません。仮に複合化ではなくても、拠点となる庁舎の周辺のにぎわいを生むためには、基本的な方針とかコンセプトを大きく変えずに、進めていけるのではと考えています。

委員：予算規模的に当初50億円ぐらいから現在30億円ぐらいの話になり、さらに削減していきたいとしているので、基本方針1項目を最優先事項としていくのも、見直しが必要ではないか。もし、この優先順位を高めていくのであれば、また違った議論になってくるのかなど。例えば、現実的ではないが、大阪では、商店街にホテルを建てる際に閉店場所を活用して分散化した事例や、商店街の中に庁舎の機能を分散化させる話もある。今の話の中では、にぎわいづくりとか、まちづくりの拠点というのは少し難しいと思う。また、役場を減築するのは、建築費もかなり抑えられるし、1,883㎡足りないところは、小学校を活用して、小学校で余るところには、例えば冬でも土日でも子どもたちが遊べる施設を作り、交流人口の増加に繋げていけて良いと思う。その辺りも含めて、基本方針について目的や優先順位を毎回会議前に皆さんと共有していけたらと思う。

委員長：他になにかございますか。

今30数億ぐらいの予算規模で検討しているが、最近では建築費がどんどん高騰しています。そういった意味では、こういう減築とか分散化というのは本当にいい方法だと思っていて、まずは防災拠点の確立をすべく、何とか早く進

めていきたいと思っているが、お金の問題があるので、その辺を整理して進めたいかなければならない。ただ、建築費が上がっている状況で、時期は適切なのかという気もしており、このように提示された事例を見ながら、進めることができればと思っています。

皆さんから何かございませんか。せつかくですので、一言ずつお願いします。

委員：分散配置する場合には、既に決まった箱の中に収めていく制限が多くあるので、庁舎の本体で絶対に必要なものは新庁舎で確保し、残りはいかにうまく分散した配置をしていくかという考え方になり、あとは分散した配置に、役所としての役割とどんな機能を持たせるかを考えていく必要がある。旧小学校の体育館はほとんど使わないような想定と聞いたが、一般的に体育館の床はもともとそんなに強くなく、単位面積あたりの重量が大きくなると床が抜けてしまう。いろいろなデータがある中で気が付いたのはそこだけだが、もしかすると、他にもそういうことがあるのではという気がした。

委員：町の経営から考えると、後世の町民の負担になるようなことは避けなければならない。予算規模と償還金も含めてどこまで可能なのかという観点からみると、事業規模や予算が小さくなるのは理解できる。なので、意見として出たが、この施設のコンセプトが町民ファーストで出来るのが望ましい。気になったのは、分散化するとそれぞれの施設で用意しなければいけない書庫、事務スペースが、二重投資になる可能性があること。集約できるところは集約しながら、いろんな組み立てをして、効果的で合理的な修繕計画になるのがよい。ただ残念ながら、それぞれの候補の建物は、全て古くて耐震補強しなければならない。いろいろ数字を見て天秤をかけることになると思う。

委員長：基本的にデジタル化になると書庫は必要なくなりますよね。

事務局：行政ですので、紙で扱うものがなくなるという形にはならないでしょうから、書庫がなくなるという考え方はないと思います。ただ、保管している場所が必要なだけで、それを使う側が工夫して集約するのはできると思います。

委員：今日の委員会内で出た意見と自分は同じような意見だと思って聞いていた。私も当初は町民ファーストという考えを持っていたが、皆さんからもあったように、当別町内で状況の変化もあるので、これからの将来のために、じっくりと考え直さないといけないと思う。計画は遅れるかと思うが、もう少し考え直してから、また新庁舎を建てる検討をした方がいいのではないかと。

委員：まず、今回の資料のゆとりの利用状況について、事務室と多目的ホールが同じくらいの面積なので、使い方によってはもう少し縮小できるのであれば、例えば保健福祉関係で使用しているところに、本庁舎にある住民サービス課のようなところを移転するというか、そんな余地がないか検討できると思う。また、別の話になるが、にぎわいのイメージとして庁舎にカフェや家族で遊べるよう

な施設を作るようなことがあるが、それを飽きられずに継続してやっていくには大変な努力が必要だと思うし、お金も将来の負担にならないように考えなければならない。今はまさに 20 年、30 年というか、もう 5 年後がどうなるかの見通しもたたない状況で、将来に負担をかけないコンパクトな庁舎の検討はさらに進めていかなければならないと思うが、現在は建材の高騰によって建築費が上がっており、拙速に結論を出さずもう 1 度見直しをして、再生可能エネルギーの導入や当別で多く降る雪を活用した実験的な施設の検討など、そして、その導入や検討に対してのお金のかけ方やどんな補助があるかなど、幅広い検討が必要ではないか。

委員：新庁舎がまちづくりの拠点となって、にぎわうものになればいいなと思っていたが、毎回自分の知らない現実を突き付けられて、すごくお金のかけ方が難しい問題だなと勉強させられる。町内の状況の変化もあるので、新庁舎も大きなものはいらないと思う。

委員：資料をみても理解できないことが多く、現在ある建物を利用して改修する費用がどのくらいかもわからないが、既存のものを改修した建物と新築の併用が、本当に金額が低くなるのかが疑問である。また、先のことを考えていくことはすごく大事なことだと思っていたが、当別町として今後についてももう一回考えなおす、今までと少し違う状況になってきたため、本当は庁舎の検討を早くと思っていたが、もう少し状況を判断してから考えていった方がいい。町民がこれからここで暮らしていくにはどんな庁舎がいいのかが、私自身まだイメージ化できていない。

委員長：皆様からいろいろご意見いただきましたが、年度内には、いくらかかるのかなど、何とか方向性を決めていきたいと思っております。次回の委員会では概算費用の試算ということで、本日の皆さんの意見を踏まえての議論となります。

本日は既存施設の利活用可能性調査の結果について審議いただきましたが、今回の既存資料からの分析結果では、それぞれ建物ごとに劣化状況の違いがあり、改修に向けては課題がいろいろあることが分かりました。今申し上げましたように、次回は、改修に係る概算費用の提示がされると思います。かなり重要なことだと思いますので、金額を提示していただいて、今後の活用プランニングなどの検討を進めていきたいと思っております。引き続き皆様にはご協力いただきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

#### ・その他

事務局により、今年度 3 回目となる次回委員会の開催日の調整を行い、10月26日（木）午前中に開催することを決定した。

以上